

令和6年度（2024年度）

グローバル ジュニアドリーム事業



事業報告書

熊 本 県
熊 本 県 教 育 委 員 会
熊 本 県 青 少 年 育 成 県 民 会 議

はじめに

「グローバルジュニアドリーム事業」は、昭和54年の国際児童年を記念し実施された、沖縄県への派遣交流を活動内容とする「熊本県少年の船・友好の翼事業」を前身として始まりました。本事業の目的は、未来の熊本を担う肥後っ子に、台湾への派遣交流や「夢」についての講話を通して、自分の夢と可能性を発見する機会を提供するとともに、郷土熊本に誇りを持ち、グローバルな視点から思いやりとたくましさを持った子どもを育成することです。

平成26年度から毎年、熊本県と熊本市が「友好交流協定」を結んでいる台湾高雄市へ約30人の団員を派遣してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は事業を中止しました。

令和3年度、4年度は台湾への派遣交流は中止しましたが、台湾との交流を継続するために県内版のグローバルジュニアドリーム事業としてオンライン研修を実施しました。本年度は、小中学生29人、高校生リーダー6人の合計35人を熊本青少年大使として、通算8回目の台湾派遣を行いました。

派遣するにあたり、木村敬熊本県知事から、熊本の秘めた可能性や熊本と台湾の関係についての話があり、その後、団員一人ひとりに青少年大使任命書の授与を行いました。

本研修では、高雄市の青少年たちとの交流をはじめ、TSMC関連施設、高雄市内の名所の視察研修などを行い、台湾の方々の温かさや熊本との歴史的なつながりなど、直接肌で感じる良い機会になったと思います。ジュニアカーニバルでは、将来の夢について綴り、語ることで、夢実現とそれに向けた身近な目標が明確になったことでしょう。

この事業で、初めて出会った小学生から高校生までの仲間たちが行動を共にし、お互いに目的を持って助け合い励まし合うことで、自分自身を見つめ直し、自分の可能性を伸ばす良い機会になったことと思います。

今後、参加された団員の皆様が今回の研修で学んだことを生かしながら、それぞれの夢に向かって健やかに成長されることを期待しています。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、御支援、御協力をいただきました高雄市政府教育局をはじめ、高雄市立楠梓中学校、楠梓小学校、楠梓高校、関係の皆様方に心から御礼申し上げます。

熊本県環境生活部県民生活局くらしの安全推進課

課長 岸森 法夫

事業の概要

熊本県では、「子どもたちが夢を持ち、それに向かって挑戦することができる社会」をめざしています！

現代の子どもたちを取り巻く環境

- ・インターネット、ゲーム依存
- ・家庭や地域の教育力の低下
- ・地域交流の希薄化
- ↓
- ・コミュニケーション能力の低下
- ・生活体験の不足

グローバルジュニア ドリーム事業

「夢」についての講話や
海外（台湾）での活動

期待できる効果

- ・自分の夢と可能性を考える機会
- ・日本、郷土熊本に対する誇り
- ・グローバルな視点から「生きる力」を身につける
- ・コミュニケーション能力の向上

事業の経緯

昭和54年から、熊本・沖縄両県の少年が相互に訪問し合い、交流を続けてきた。

（「熊本県少年の船 友好の翼」事業等）

平成21年度から、「夢」をテーマに県内での各種体験活動及び交流活動に、趣旨・内容を変更し実施。（「ジュニアドリーム」事業）

団の構成

○スタッフ

県、教職員、県警職員、看護師等(9人)

○リーダー：県内の高校生(6人)

○団員：県内の小学6年生～中学3年生(29人)

事業内容

平成29年1月に、台湾の高雄市、県、熊本市の3者で締結した「友好交流協定」における教育交流分野を具体化する事業として実施

本研修：8月5日(月)～8月8日(土)3泊4日 場所：台湾(高雄市・新竹市)

事前研修会：7月20日(土) 事後研修会：8月24日(土)

(スタッフ・リーダー研修会：7月6日(土)及び7月27日(土))

○県知事やその他の職業の方による講話



○自分の「夢」や将来について考えるキャリア教育

○台湾での活動
【高雄市の青少年たちとの交流、TSMC 関連施設や高雄市内の見学等】



○異国の文化に触れ、日本や郷土熊本を再発見する。
○グローバル社会に視野を広げ、「生きる力」を育む。
○仲間との絆を深める。

○事前研修
○事後研修



○本研修に向けての仲間作りや準備
○研修を生かし、県民や学校等に活動報告を行う。

未来の熊本を担う肥後っ子の育成

令和6年度（2024年度）グローバルジュニアドリーム事業の概要

1 はじめに

本県では、昭和54年の国際児童年を記念して「熊本県少年の船事業」を開始し、後継の「熊本県少年友好の翼事業」「熊本県ジュニアチャレンジ事業」まで、沖縄県での体験・交流活動を行ってきた。

平成21年度からは、「熊本県ジュニアドリーム事業」として活動の場を県内とし、自分の夢と可能性を発見する機会を提供するとともに、思いやりとたくましさを持った子どもの育成をめざして、様々な活動を行ってきた。

平成26年度から令和元年度まで、その活動の場を海外（台湾）に移し、より活動内容を充実させた「グローバルジュニアドリーム事業」を実施してきた。新型コロナウイルスの影響により令和2年度は事業を中止、令和3、4年度は台湾への派遣は中止したもののオンラインで高雄市との交流を実施、今年度は8回目の台湾派遣となった。

2 募集・選考

県のホームページに掲載するとともに、県内の各学校に団員募集要項を配布し広報活動を行った。

定員を大きく超える応募があり、第1次選考（書類審査）、第2次選考（集団面接）を行い、団員29人を決定した。

また、団員の活動支援を行う高校生リーダーにも多くの応募があり、書類審査と面接選考の結果6人を決定した。

3 結団式・事前研修会（7月20日（土））

この日、初めて顔を合わせた団員は、緊張の面持ちで、結団式や台湾についての研修等に臨んだ。

熊本YMCA学院に在籍する台湾からの留学生に講話をいた



だいた。台湾についての基礎的な情報に始まり、台湾グルメや日常会話について、時には笑いを交えて教えていただいた。クイズの場面では大盛り上がりで、正解者には台湾のお菓子をいただくなど、団員も楽しみながら学ぶことができた。

午後からは、木村敬熊本県知事からの講話及び意見交換、熊本青少年大使任命式、本研修や事後報告に関する研修と続いた。

知事からの講話では、熊本の秘めた可能性や熊本と台湾の関係性についての話があった。農産物や観光地など、熊本には全国に誇れる様々なことがあることを学び、熊本から台湾に行くのに掛かる時間は、熊本から東京まで行くのとはほとんど変わらないという話があり、台湾を身近に感じることができた。最後に、時代の変化を捉えて変化できる人間になりましょうとのメッセージが送られた。講話の後は、「知事と語ろう」と題し、知事と意見交換を行った。団員からは積極的に知事への質問や意見が出ていた。その後、熊本青少年大使任命式では、くまモンが登場し、団員は知事から直接任命書を受け取った。



4 本研修（8月5日（月）～8日（木））

（1）1日目

阿蘇くまもと空港に集合し出発式の後、しばし保護者とお別れとなった。空港職員の皆さんの御協力のもと、空港のお仕事についての講話と、熊本地震後に建て替えられた新しい空港の案内を行っていただいた。

空港内は県外から来た人に熊本の魅力が伝わるような工夫が様々な



ところにほどこされていた。搭乗手続き後、桃園国際空港へと向かい、台湾到着後にホテルへ移動し、一日目を終えた。



(2) 2日目

T SMC本社にある博物館「台積創新館」を訪問し、創業の歴史や半導体について学んだ。その後、台湾高速鉄道に乗り高雄市へ移動。高雄市到着後に、高雄市歴史博物館で高雄市の成り立ちや、日本との関わりについて学んだ。その後、高台にある市内最古の西洋建築の旧英国領事館から高雄市の街並みを見て、夜は天井がステンドグラスでできておりその美しさが有名な美麗島駅、台湾名物の夜市見学を行った。夜市では、熊本では見られないような食材が売ってあったり、台湾の方が夜市で夕食をとっている様子を見られたりと、台湾の文化を肌で感じる事ができた。



(3) 3日目

本研修の主たる目的である台湾の青少年との交流会を行った。交流会の会場である高雄市立楠梓中学校には、近隣の楠梓小学校、楠梓高校の生徒も集まっていた。楠梓小学校による歓迎の



ディアボロの披露に始まり、高雄市政府教育局を初め、関係各校の熱烈な歓迎を受けた。交流会では、代表が「くまモンと熊本県の概要」、「熊本の名物(お菓子やごはん)」、「阿蘇について」を紹介した。また、高雄市側の紹介も聞くことができた。本県の紹介ではくまモン体操を披露し、会場は笑いに包まれた。その後、英語やジェスチャーを使い、けん玉やだるま落としを通して交流を深めた。団員の中には、通訳を介さずにスマートフォンの翻訳アプリを使って意思疎通を図ったり、ジェスチャーをしながら会話をしたりする光景が見られた。昼食は一緒に弁当を食べ、午後からは校種毎に分かれて体験



授業を受けた。小学生はディアボロ体験、中学生は電子マジックミラー作成、高校生はパイナップルケーキ手作り体験をした。途中休憩では、高校生グループが作ったパイナップルケーキが全員に振舞われ、タピオカミルクティーとともに食べることができ、子ども達はリラックスして交流を深めた。最後に、「本日の交流会で学んだこと」の発表会をし、お別れとなった。

交流会を終え、お土産屋さんに立ち寄り、ホテルに戻り夕食を取った後、夜はジュニアカーニバルを行った。夢未来予想図の発表では、皆で将来の夢について語り合い、レクリエーションでは班で団結して活動を行い、大いに盛り上がった。

(4) 4日目

朝食後、高雄市を代表する観光地、蓮池潭を訪れた。残念ながら塔は工事中だったが、中の様子を見学したり、写真撮影をしたりして高雄訪問の記念とした。見学後は高速



鉄道で桃園に向かい、桃園国際空港へ。出国手続き後、阿蘇くまもと空港へ飛び、無事家族の待つ熊本へ帰国した。空港へ到着すると保護者が笑顔で出迎えてくれた。解散式では、台湾で過ごした日々を振り返りつつ、仲間との一時の別れを惜しんで解散した。

5 事後研修会（8月24日（土））

午前中は、本研修の学びを新聞形式にまとめたものを班の中で報告し、次に全体に向けて発表を行った。同じ行程を過ごしたものの、団員それぞれが学んだこと、感じたことの発表を聞くことができた。保護者の方も、どのような本研修を過ごしたのか、熱心に耳を傾けている様子だった。



昼食をはさみ、味千ラーメンでおなじみの、重光産業株式会社 重光悦枝さんによる「夢」講話を実施した。「『自分は自分の主人公』～世界でただひとりの自分を創っていく責任者～」と題し、高校生の時にアメリカにホームステイに行ったことを初め、現在も海外に展開している店舗に足を運ぶことや、ご自身の経験を踏まえたお話を聞くことができた。講話の中で、「物事はうまくいくことばかりではなく、時には挫折をすることもあっても、決断は自分ですれば後悔をすることはない。」「壁が立ちただかることもあるが、自分で決断して絶対に諦めないで行動をすれば、次に新しい道が拓ける」など、夢の実現に向けたたくさんのメッセージをいただいた。講話の後の質疑応答では団員から多



くの質問が出て、「海外進出の際、気に掛けていることはあるか」という問いに対し、「その国の人達が何を求めている、何をすると喜んでもらえるかを考えている。その国が発展することに貢献できることが一番大事だと考えている。」といったやりとりがあった。

その後、お別れ会で班ごとの思い出の品を作り、閉会とした。いつまでも名残はつきなかったが、それぞれの夢の実現を願って、解散した。

6 おわりに

本研修は、充実した4日間を過ごすことができた。初めて海外へ行く団員も多い中、高雄市の視察、現地の青少年との交流会、ジュニアカーニバルと、年齢を超えて団員が協力することで、目的を十分に達成する研修となった。特に、高校生リーダーの事前の準備や研修における気配り、リーダーシップは、団員にとって大きな支えとなった。そして、全日程を無事に終えることができたのも、保護者や関係者の方々の温かい御支援と御協力のおかげだと思う。

互いに知らなかった子どもたちが打ち解け、仲良く過ごすことができたのは、本人たちの心がけはもちろんのこと、高校生リーダーやそれを支えた成人スタッフの力も大きかったように思える。

親元を離れ、海外で過ごした4日間は、団員にとってとても貴重な経験であり、本事業の目的を十分に達成し、青少年の健全育成に大いに貢献できたものと受け止めている。このような機会を次の世代にもつなげていきたいと切に思う。

令和6年度(2024年度)グローバルジュニアドリーム事業日程

研修	日 付	内 容	場 所
事前 研 修 会	7月20日(土)	・事業概要説明 ・台湾からの留学生による講話 ・熊本県知事講話 ・知事と語ろう(対話) ・青少年大使任命式 ・保護者説明会	熊本県庁
本 研 修	8月5日(月) ～ 8月8日(木)	8月5日(月) ・熊本空港集合【15:00】 ・熊本空港施設見学・講話 ・熊本空港→桃園国際空港(飛行機) ・桃園市ホテルへ(バス) 8月6日(火) ・TSMC台積創新館見学 ・新竹駅から高雄左營駅へ移動(台湾高速鉄道) ・高雄市内視察 (高雄市歴史博物館、旧英国領事館、美麗島駅、六合観光夜市) ・高雄市ホテルへ(バス) 8月7日(水) ・高雄市立楠梓中学校にて交流会 (近隣の小学校、高校も来校) ・ジュニアカーニバル 8月8日(木) ・高雄市内視察(蓮池潭) ・高雄左營駅から桃園駅へ移動(台湾高速鉄道) ・桃園国際空港 → 熊本空港(飛行機) ・熊本空港到着【17:35】 ・解散式後、解散	桃園市ホテル泊 新竹市 高雄市 高雄市ホテル泊 高雄市ホテル泊 高雄市 熊本空港
事後 研 修 会	8月24日(土)	・研修成果発表 ・「夢」講話 重光産業株式会社 重光 悦枝 代表取締役副社長 ・お別れ会	熊本県庁

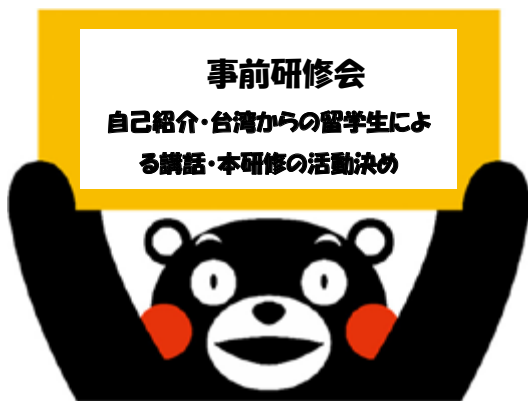


高雄市歴史博物館



台積創新館

本事業の様子



©2010熊本県くまモン







©2010熊本県くまモン

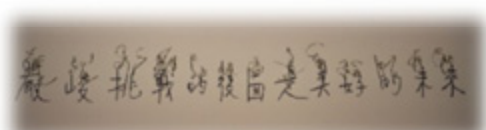


R6.7.20 ©2010 熊本県くまモン





©2010熊本県くまモン







開会行事



自己紹介・プレゼント交換



交流① だるま落とし・けん玉



交流② ディアボロ体験(小学生グループ)



交流③ 電子マジックミラー作成(中学生グループ)



交流④ パイナップルケーキ手作り体験(高校生グループ)



交流⑤ まとめ・閉会





©2010熊本県くまモン



夢未来予想図発表



レクレーション



©2010熊本県くまモン







©2010熊本県くまモン

